

顔が見えるまちづくり ですべてのひとに 出番と居場所を

武なおきの5つの重点政策で
市民のみなさんとの対話を第一に、
顔の見えるまちづくりをすすめます。



5つの重点政策



最重点課題の子ども応援

- 学校をハブ(中心)に「教育」と「福祉」・「就労」・「まちづくり」をつなぎ、地域や社会と共に子どもたちの学び育ちをトータルにサポートすること。
- 福祉と教育のコーディネートを担当する外部連携担当教師を選任配置することで、学校を拠点にした豊かな教育環境／子どものセーフティネットづくりを推進します。
- フリースクールへの補助や、居場所、子ども食堂など学校外での「小さいけれど大事な活動」が持続できるよう、小口でも継続的な財源を確保する「小さな取り組み」応援を制度化します。

すべての親子が安心して暮らせるまちへ

- ひとり親家庭には、家賃補助の仕組みづくりを進めます。
- 空き家・空室リニューアルによって低廉な家賃の住居を供給します。
- 住居の安定を目指し、その上で就労支援を行い、住むことと働くことを重ね合わせた「パッケージ型制度」を構築します。

下町成長戦略を実現

- 高い産業集積密度、消費地と生産地の接近、包容力のある市民気質を活かします。
- 困りごとや地域課題から都市生活産業を産み出します。
- 身近な区政に住民参加型の産業振興部署の設置を目指します。
- 個別企業から地域の特性に応じた産業支援への転換を推進します。

住民参画で都市内分権をすすめる

震災へ備える・老朽インフラの対策

くわしくは武なおきホームページで掲載しています。

ありったけのチカラで 生野のために! 武なおき

大阪市議員
社会福祉士
ケアマネジャー

顔が見えるまちづくりで
すべてのひとに
出番と居場所を!

問
合
わ
せ
先

武直樹市民協働事務所

mail:take@take-naoki.com

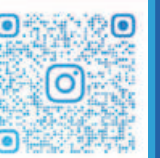
〒544-0015 大阪市生野区巽南 1-2-3

06-6753-6714

ホームページ



Instagram



福祉の現場、当事者の声を届け続ける大阪市議員でありたい

義理人情の生野と武なおき!

【私が突然、義母と同居することになった2016年8月30日の話です】

私が大阪市議会で役所の職員から案件の説明を受けている時に、妻から電話があり伊丹警察に義母が保護されたことがわかりました。伊丹市で暮らすお義母さんはもうすでに定年退職をされていて、「これからは好きに生きるわ!」と言っていたのに…。いったい何があったんやろう?そう思いながら案件の説明を聴いていると「大阪(武家)に連れて帰る」と連絡がありました。議会から急いで家に帰って、妻から事情を聞きました。「会話をしてコミュニケーションはできるけど、短期の記憶がなくなってしまう…認知症みたいやわ。一人で家まで帰れなくなってしまって、警察に保護されたみたい」

この日から、うちのマンションでお義母さんとの同居がスタート。とはいえ、長女は高校3年生で受験生、長男は1歳…家がグチャグチャバタバタの中での生活です。地域のケアマネさん、デイサービスに協力してもらい、なんとか生活をまわしていました。定期的に行っていた朝の街頭活動にも行っている場合ではありませんでした。お義母さんは夜になると「帰る!帰る!」とたびたび家を出ていってしまうため、心配だから靴にGPSをつけておきました。そんなある日のことです。

家族がみんな寝入っている間に、お義母さんがGPSがついてない靴で出かけてしまい、行方がわからなくなってしまいました。生野警察に捜索願を出して探しますが、全く見つかりません…。

すると、明け方に布施警察署から連絡があり、「保護しましたので迎えにきてください」と言われ、ホッとしたのを覚えています。その後、2017年の10月からは、家から歩いて1分の高齢者マンションに住んでもらいました。ここだと1階に管理人の方が24時間いてくださるので安心。

また、日中は引き続きデイサービスセンターにお世話になったり、地域のふれあい喫茶・食事サービスに遊びに行かせていただいたりしました。現在はコロナ禍を経て小規模多機能居宅サービスを利用し、家と施設を行ったり来たりしながら、落ち着いて生活しています。親を介護する当事者になってみて、地域みなさんに支えてもらいながら生きていけることを改めて実感しました。介護保険の制度やサービスだけでなく、地域のネットワークやつながりがあることで安心して暮らせることを、当事者になって身に沁みただけです。また、当事者になったからこそ、介護保険の制度やサービスの課題や矛盾にも気づくことができました。

これらを修正したり、無いものについては行政に作って欲しいと要望したり、現場の声をダイレクトに届けるのが大阪市議員の役割です。

地域の方々の声を元にして作った【武なおきの5つの仕組みづくり】の目標として「(4)お互いさまの地域づくり」があります。市民の方々が抱える生活の課題は、複雑・多様化し、複合化しておりますし、ますます「地域で個人をどう支えるか」や、そのための仕組みづくりや地域づくりが問われています。

親の介護の経験と想いに基づいて、市民の皆さまと力を合わせて「お互いさまの地域づくり」を実現していきます。





11/12 巽東



11/20 巽



11/22 北鶴橋



11/25 東中川



12/4 生野

座談会で地域の声をお聴きします

この4年で50回以上開催



1/13 御幸森



Youtube武なおきチャンネルでは、市議員の仕事



10/28 東小路



11/19 東桃谷



11/19 鶴橋



武なおきは3期目の4年間も「すべての人に出番と居場所を」掲げて活動してきました。



また、地域の要望を武なおきが議会に届け、2019年には空家利活用改修補助事業が創設されました。



にもつながります。木野村へっついさんプロジェクトでは彌榮神社にピザ窯が作られ、交流に活用できる場がまた一つ増えました。

子ども食堂の取り組みも応援しています。これからも地域の中での議論を大切にし、議会に声を届け、制度をよりよいものにし、出番と居場所を広げていきます。

これからも市民のみなさんとともに走り続けます!

ありったけのチカラで生野のために!



この4年間、市民のみなさんとたくさん話してやってきたまちづくりの成果

武なおき

#すべての人に出番と居場所を! #人には必ず出番がある

本会議・委員会での発言327回(4年) 少数会派ならではの、市民の声をダイレクトに届けます

定期的な街頭配布とポスティング



地域での気づきを議会にあげ、政策に反映させます。



チラシもらってね

街頭演説132回以上(2年)

通勤する方にエールを送りながらの街頭演説。



学習会などで専門知識をフィードバック。



相談のきっかけがチラシ、市政報告やポスターを見てということも多くなります。

何が出来るかみなさんと一緒に考えます

現役議員かつ社会福祉の専門家として講師をします



はたらく支援の仕組みづくり



市民の参加がさらに進む仕組みづくり



共生と人権を包括する仕組みづくり



空き家の利活用を推進

武なおきに取り組む5つの仕組みづくり実践中です



お互いさまの地域づくり

無所属だからできる役割を果たしていきます